

刈谷市消防団

消防団ってなに？

消防署に勤務する消防士と同じと思う人も多いですが、実は違います。消防士は火災、救助、救急活動のスペシャリストで、それが本職の公務員ですが、消防団員の本職は別であり、火災や災害などの非常時に出勤して活動しています。両者は連携しながら活動し、地域の安心安全を守っています。

その他にも祭りの警備、地区の自主防災訓練、火災予防の啓発活動など、年間を通してさまざまな活動をしており、消防団の力は欠くことができません。

消防士

全国で
約16万人

連携

消防団員

全国で
約80万人

常備の消防機関

火災の予防、消火、救急、救助などさまざまな消防防火活動の第一線を担います。

非常時の消防機関

消防士と協力して、住民の避難や救助を行うとともに、災害復旧作業などを支援します。

市内の分団位置図



このまちを守り継ぐ。次は

君の番だ

普段は何をしている？

火災時の消火活動はもちろん、いざという時に備えたさまざまな活動をしています。



①



②



③



④

①消防車の運転技術向上のための走行訓練
(協力：刈谷自動車学校)

②がれきの下敷きになった人を救助する訓練

③水害現場で使用する土のう積み訓練

④消防団を周知するためにイベント会場などのブース出展・啓発活動



各自治体には消防署とは別に消防団という組織が存在します。消防団は消防署と同じく、消防組織法に基づき設置される消防機関ではありますが、やりがいや役割は消防署とは異なります。今回は消防団に関する解説や団員へのインタビューなどを通し、その活動内容や魅力をお伝えします。
問 危機管理課 (☎62-1190) ID 1002837

刈谷市消防団

こんな組織

分団数 21分団
団員数 351人
(うち女性11人)
平均年齢31.1歳

昭和25年の市制施行時に誕生し、今日まで70年以上地域を守ってきました。
(令和4年1月1日時点)

